

人に笑顔を 与えられるかもしれない、 素敵な仕事

「さようなら」とクラス全員の子どもたちが元気に帰る時、一日の中で一番ほっとし、私にとって充実感に満ちた瞬間となっています。教員になってもう7年目。3年生であったり、5年生であったりと同じ学年を何回か担任することもあります。当然ですが、一年間は毎日やってくる子どもたちは同じです。しかし、おもしろいことに今まで同じような日を過ごしたことはありません。「毎日が新しく、予想がつかないこと」の連続だからです。

繰り返りに練った授業計画がうまくいかないこともあります。子どもたちが伝えたいことを私が十分に理解できない時もあります。悩み多き日々ですが、それでも子どもたちとあきらめずに向き合っていこうと思えるのです。では子どもの魅力は何か。恥ずかしながら、未だに答えることができません。ただ、毎日を共に過ごし、一緒に歩いていく感覚。以心伝心したその時。「この子たちの成長を見ていきたい」という想いに私は気付かされます。

笑いあり、涙ありの日々です。昨日できなかったことが、今日できるようになる時があります。その子の努力や経過を知っているからこそ、感動できます。すると「明日もまた成長した姿を見るのが楽しみだ」と思います。日々が新鮮で、創造的な生活をつまらないと思う人はいないでしょう。子どもたちが楽しそうに笑っていて、私も一緒になって楽しんでいる時、教員になって本当によかったと実感します。自分が人に笑顔を与えられるかもしれない、私はそこに教員の魅力を感じているのだと思います。



Person 02

仙台市立富沢小学校 教諭

黒田 麻衣子

Maiko Kuroda

- 2007年 学校教育教員養成課程(T課程)
社会科教育専攻 卒業

